

251224

東海大学医学部附属病院にて

2020年までに造血細胞移植を受けた患者さんおよびそのご家族の方へ
生命科学・医学系研究に対するご参加のお願い

[研究の実施について]

東海大学医学部附属病院では、上記の治療をされた患者さんの情報を使い、病気の理解や治療法の向上を目的とした研究を行っています。

この研究は、愛媛県立医療技術大学研究倫理審査委員会の承認を受け、当院病院長の許可のもと、法律や倫理指針に従って実施されます。なお、研究成果は、学会や論文で発表されることがあります。

[研究の概要]

対象者：当院で造血細胞移植開始後～2020年12月31日の間に、当院血液腫瘍内科および小児科で造血細胞移植を受けた移植時年齢が18歳未満の方

研究課題名：小児期造血幹細胞移植実施後の二次性悪性腫瘍の解析

倫理審査番号：25RC067

研究期間：【許可日】～2027年3月31日

251224

[本研究の目的・意義]

造血細胞移植後の晩期合併症の中で最も重要性の高い二次がんに関して、本邦の小児期移植例ではまだ不明な点が多くあります。この研究では、小児期に実施された造血細胞移植例の固形がんを含む移植後二次がんの全貌を明らかにし、その頻度（発症率）およびリスク因子の検討を行うことを目的とします。

移植成績の向上から長期生存者の数が増え、近年では移植後の晩期合併症の重要性が増加していますが、生命予後にも影響するものが二次がんです。移植後の二次がんのリスク因子の検討を行うことで、将来の移植医療にとって前処置や免疫抑制薬の最適化に寄与することが期待されます。

[使用する試料・情報の例]

既に同意をいただいている「造血細胞移植および細胞治療の全国調査」で収集された下記情報
移植/細胞治療時年齢、生年月日、性、診断日、移植/細胞治療日、移植/細胞治療回数、過去の移植/細胞治療、診断名、治療前PS、治療時病期、輸注細胞の種類、ドナー情報（性、関係）、HLAの型、採取細胞の処理法、前処置、輸注細胞数、移植片対宿主病（graft-versus-host disease, GVHD）予防法、生着の有無及び生着日、GVHDの有無、二次性悪性腫瘍の有無、移植/細胞治療後の再発の有無、生存状況など

[個人情報の取り扱い]

この研究では別に同意をいただいている「造血細胞移植および細胞治療の全国調査」に登録されている情報を使用します。既に匿名化された情報を使用しますので、患者さんの個人情報を利用することはありません。

[情報の開示について]

ご希望があれば、研究計画の資料やご自身の情報について、可能な範囲で開示いたします。ご家族と一緒に説明を受けることも可能です。ご不明な点があれば、遠慮なくお問い合わせください。

[研究資金・利益相反^{りえきそうはん}について]

この研究は愛媛県立医療技術大学講座研究費・教務運営費学内の研究費で行われ、企業からの資金提供はありません。そのため、現時点で開示すべき利益相反はありません。

[研究組織]

代表研究機関名：愛媛県立医療技術大学

研究代表者所属・氏名：臨床検査学科・石田也寸志

共同研究機関リスト

東海大学医学部附属病院 血液腫瘍内科 豊崎誠子

大阪公立大学医学部附属病院 血液内科・造血細胞移植科 久野雅智

藤田医科大学造血細胞移植・細胞療法学 稲本賢弘

伊那中央病院腫瘍内科 黒澤彩子

広島市立広島市民病院血液内科 西森久和

愛知医科大学医学部造血細胞移植・細胞治療情報管理学 熱田由子

国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター生物統計研究室 橋本大哉

その他、本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

[お問い合わせ先]

電話：0463-93-1121（代表） 内線：2230

研究責任者：血液腫瘍内科 豊崎誠子

[更新履歴]

2025年12月8日 第1版